

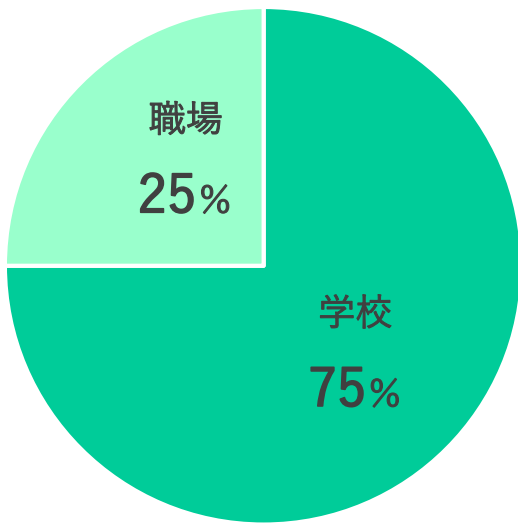
# 大阪薬科大学オープンキャンパスに係るアンケート とりまとめ結果（平成30年8月19日実施）

このことについて、参加者を対象にアンケートを行った結果は、以下のとおりであった。

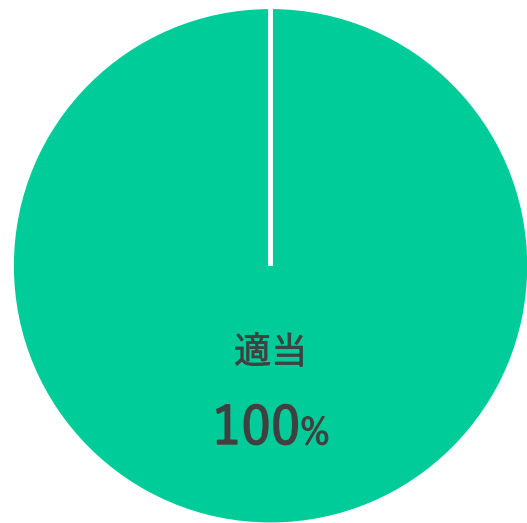
## <アンケート結果概要>

- アンケート対象：大阪薬科大学オープンキャンパス送迎イベントに参加した者
- アンケート回収者数：8名（n = 8）（高校生6名・保護者2名）

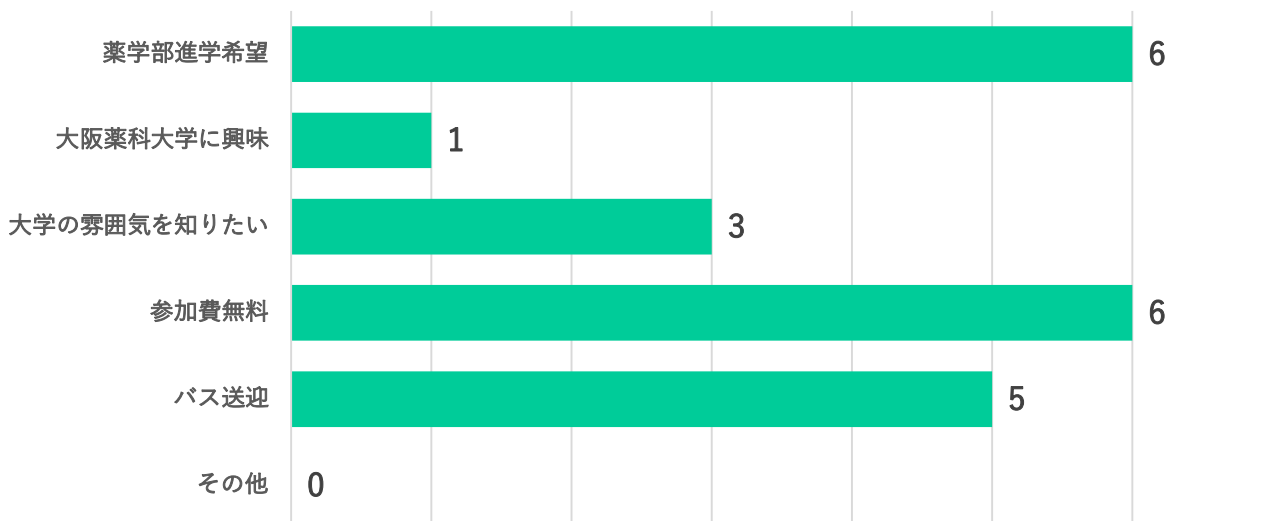
### 1. イベントを知ったきっかけ

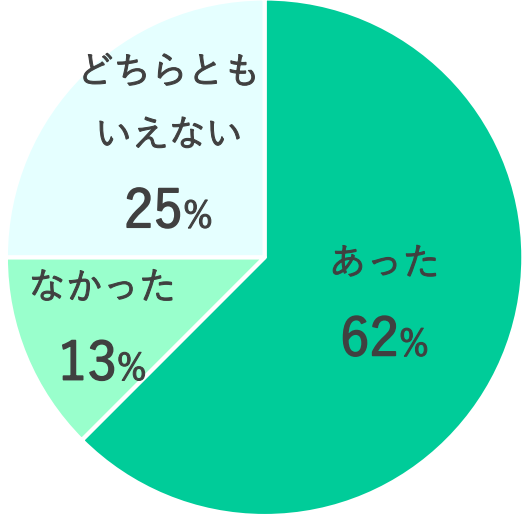


### 2. 当日のタイムスケジュール



### 3. イベント申込の決め手



4. 薬学部進学への意識の変化	具体的な変化内容
 <p>あつた 62%</p> <p>どちらともいえない 25%</p> <p>なかつた 13%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 薬学部と農学部で迷っていたが、迷いがなくなった。勉強面や金銭面など心配はあるが、自分ができることを頑張りたい。</li> <li>○ もともと薬学部進学を考えていたが、実際に大学に行き体験をしたことで、やはりやりがいのある職業だと思った。</li> <li>○ 薬学部進学に関しては費用が高額であることに不安を感じていたが、鳥取県の奨学金返還助成制度を知り、薬学部進学へ今までよりも前向きに考えられるようになった。</li> <li>○ 私立大学についての進学も考えるきっかけになった。鳥取県での薬剤師が足りていないので、薬学部を目指すという気持ちがさらに高まった。</li> </ul>

## 5. イベントを通して、最も印象的・興味をもったこと

<p><b>【高校生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ きれいなキャンパスですごく過ごしやすそうだと思った。施設が充実していて勉強する環境が整っていると思った。やさしい方たちばかりで良かった。</li> <li>○ 体験イベントや鳥取県出身者薬学生による学校案内。実際に大学で学ぶことについて体験できたこと。</li> <li>○ 実際に鳥取県出身学生と話げできたことが印象的だつた。住む場所など、これから参考になることばかりだつた。</li> <li>○ 自分のDNAを検知し、他の動植物とDNAを比べる実験ができたこと。</li> <li>○ 私立大のオープンキャンパスには初めて参加したが、私立大のメリットを知ることができた。鳥取県の薬剤師の状況について知ることができた。大阪薬科大学は鳥取県出身者が多く、ふるさと実習が可能であると知ることができた。</li> </ul> <p><b>【保護者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験学習ができたこと。</li> <li>○ 子供の大学進学にあたり医療関係の資格の取得を考えて参加した。本イベントを通して薬剤師のことがよくわかつた。入試説明会に参加して、現在の学力では難しく、入学してからの6年、国家試験など難題が多いと感じた。</li> <li>○ 設備が充実していた。学内全体が綺麗だつた。国家試験の合格率が高い。</li> </ul>
--

## 6. イベントを通して、残念だつたこと

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参加者が少なかつたこと。</li> </ul>
--

## 7. イベントの周知について、活用すべき手法

- 新聞での広報。
- 同じ高校の先輩が二人、本イベントではなく、独自でオープンキャンパスに参加していたがなぜか。魅力や利点をもっとPRしたほうが良い。
- 学校にパンフレットを送付する。(一学期の早い時期に) 進路指導担当の先生にPRし、生徒に薦めてもらう。

## 8. 薬学部進学に対して、あったらよいと考えられる取組・アイデア

### 【高校生】

- 薬学部進学の勉強セミナー
- 現役薬剤師、現役薬学生と話をする会  
(どれくらい忙しいのかなど、気軽に質問できる場)  
研究職について知ることができるイベント  
今回のイベントは良かったので続けてほしい。

### 【保護者】

- 高校生セミナーなどを適時実施し、多数の大学を紹介する。  
インターネット等ではわからない情報や鳥取県の状況などを紹介する。  
保護者としては学費の問題にかなり関心があるため、奨学金等の情報があれば助かる。